

有料版 WOLF、WOLF-V ver2.0.7.2 リリースノート

このリリースノートは、有料版 WOLF ver2.0.7.2 および、WOLF-V ver2.0.7.2 導入についての注意事項(インストール手順)および、前バージョンの WOLF から強化された内容(新機能、その他の変更点等)を記載しています。

WOLF、WOLF-V をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください(最新情報は <http://www.medical-domain.com/products/r-note.php> でご確認ください)。

1. 導入についての注意事項

1-1. 日医標準レセプトソフト(以下、日レセ)ver 4.4.0(etch)対応について

2009-03-27 に日医標準レセプトソフト(以下、日レセ)ver 4.4.0(etch)のパッケージ提供がおこなわれました。

日レセ ver 4.4.0 でデータベースのスキーマ変更がおこなわれた関係上、日レセ ver 4.4.0 と WOLF を連携して使用する場合は WOLF ver2.0.7 以上が必須となります。

設定により、日レセ 4.2.0、4.3.0 に接続することも可能です。

1-2. インストール時の注意

WOLF ver2.0.7.2 アップデートインストーラは WOLF ver2.0.0~2.0.7.1(体験版、評価版含む)が導入済みの環境でしかご利用になれません。

WOLF ver2.0.7.2 は過去全ての内容を含んでおりますので、過去のバージョンを適用する必要はありません。

WOLF-V をご利用の場合は WOLF-V ver2.0.7.2 のアップデートを入手してください。

有料版 WOLF ver2.0.0~2.0.7.1 をお使いの方

有料版 WOLF ver2.0.0~2.0.7.1(体験版、評価版含む)が導入済みであれば、「1-2.インストール方法」を参照し WOLF ver2.0.7.2 のアップデートを実施してください。

WOLF-V ver2.0.4.1~2.0.7.1 をお使いの方

Windows Vista 環境用の WOLF-V ver2.0.4.1~2.0.7.1 が導入済みであれば、WOLF-V ver2.0.7.2 のアップデートインストーラをご利用ください。

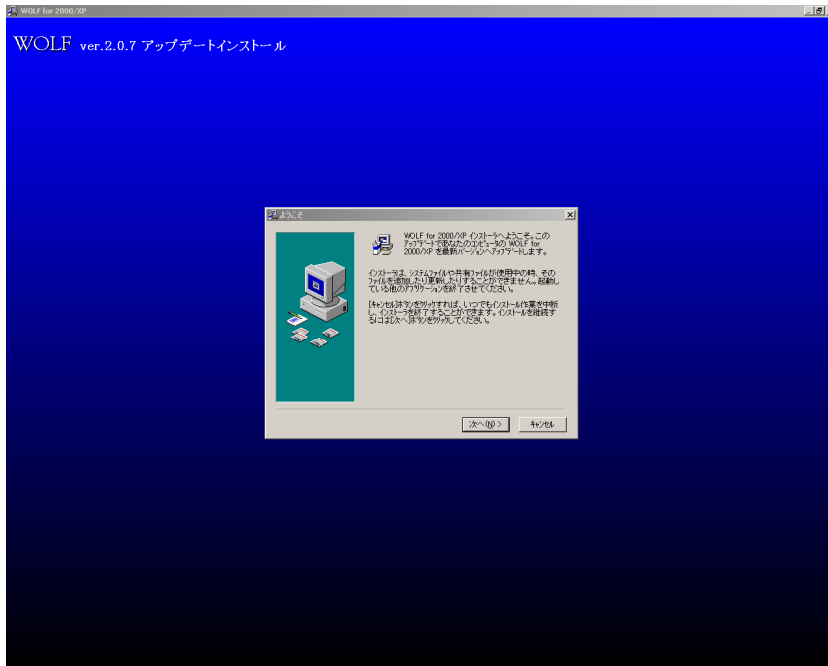
株式会社エスアールエル Doctor's Desk Light(DDL)および、無料版 WOLF ver1.X をお使いの方

まず始めに有料版 WOLF ver2.0.0 を導入する必要があります。

WOLF ver2.0.0 インストールガイドおよびリリースノートを参照し、WOLF ver2.0.0 インストールディスクからのインストール、およびデータ移行を実施してください。

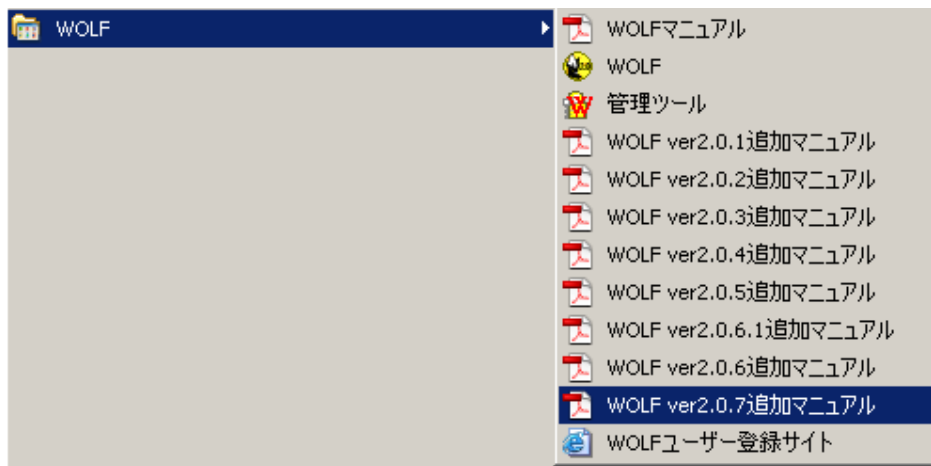
1-3. インストール方法

メディカルドメインの Web サイト (<http://www.medical-domain.com/products/download.php>) から WOLF ver2.0.7.2 もしくは WOLF-V ver2.0.7.2 アップデートパッチをダウンロードし、解凍後 SetupXP_Update.exe(WOLF-V の場合は SetupV_Update.exe)を実行してください。実行するとアップデートインストール画面が表示されます。



2. WOLF ver2.0.7.2 で変更された主な内容

追加された機能の操作方法については WOLF ver2.0.7.2 追加マニュアルを参照ください。



WOLF ver2.0.7.2 追加マニュアルは WOLF ver2.0.7.2 インストール後の Windows プログラムメニューに追加されます。

2-1. 日レセからの受付 CLAIM 受信時、受付患者一覧のスクロール位置が、最上部になってしまう仕様を最下部にするように変更

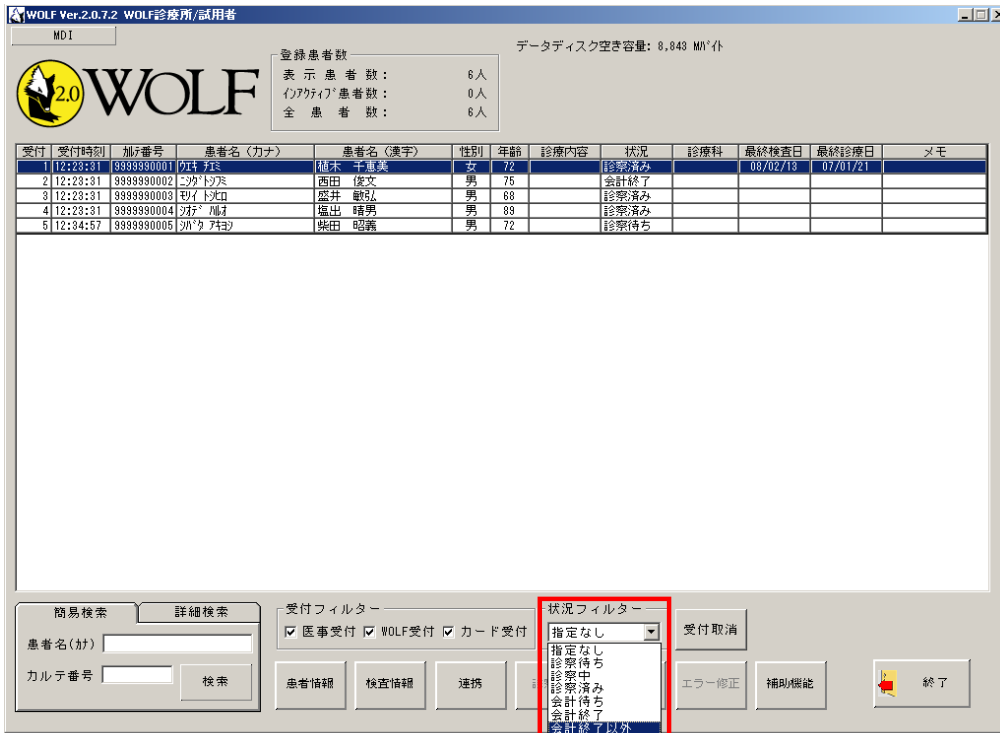
日レセの受付連携時、患者の選択状態が先頭患者に行くため、スクロール位置が最上部に移動してしまう仕様を最下部に移動するように修正しました。

これにより日レセで直近に受付された患者を選択しやすくなりました。

2-2. 受付患者一覧画面の状況フィルターに「会計終了以外」のフィルターを追加

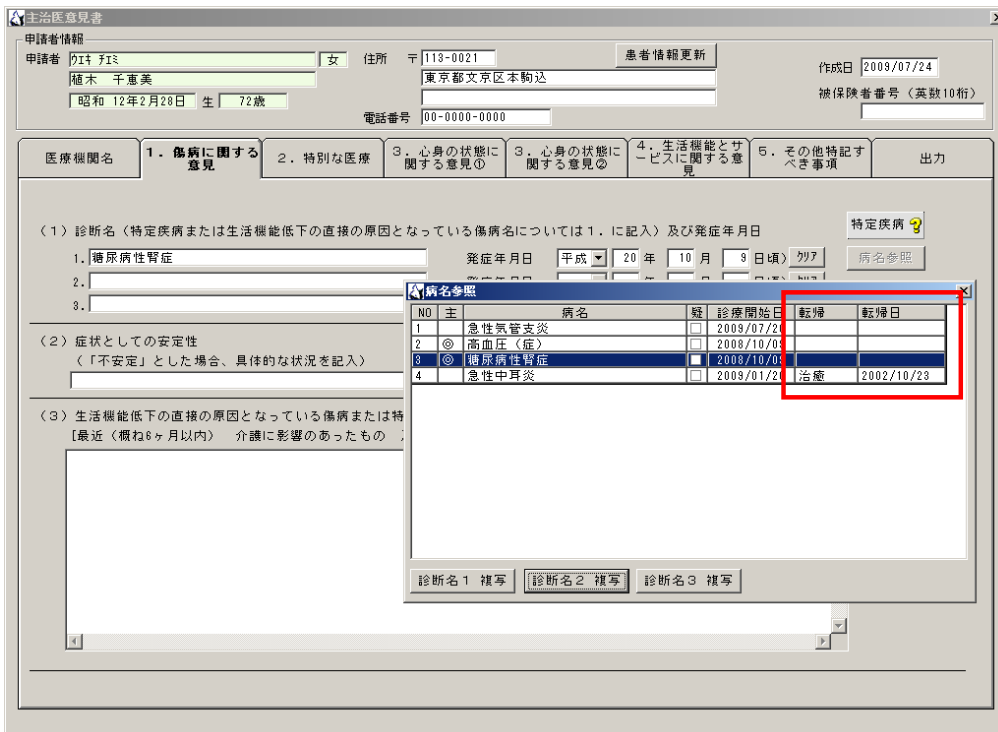
状況フィルターの「会計終了以外」を選択することで、状況が「会計終了」状態の患者が非表示になります。

「会計終了」状態への遷移は、日レセで会計が終了後の CLAIM を受信した場合は自動で移行します。もしくは患者の状況を直接クリックして手動変更することも可能です。



操作、設定方法については WOLF ver2.0.7.2 追加マニュアルを参照ください。

2-3. 主治医意見書、医師意見書作成の病名参照画面で、転帰内容と転帰日の項目を追加
主治医意見書、医師意見書作成時に転帰状態を確認して病名を複写することが可能になりました。

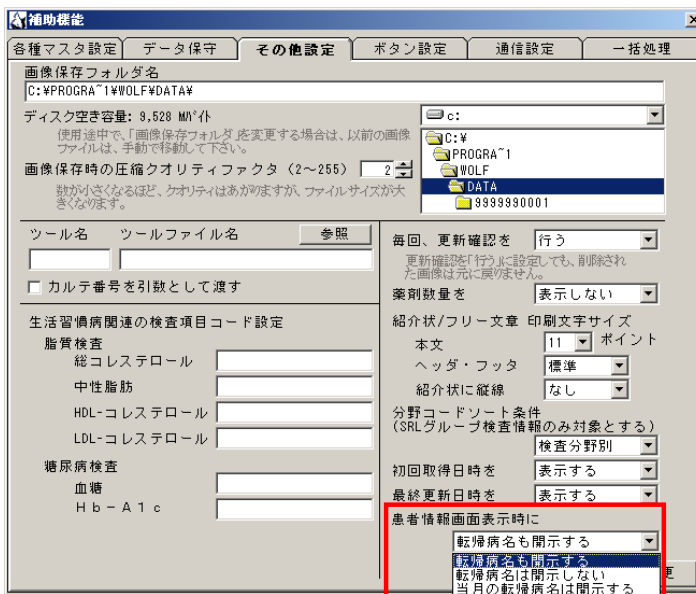


操作、設定方法についてはWOLF ver2.0.7.2 追加マニュアルを参照ください。

2-4. 患者情報画面の病名表示で転帰となった病名を非開示にする設定を追加
転帰した病名の「開示」状態がOFFになり、患者情報画面に病名が表示されなくなります。
病名編集画面で「開示」状態をONにすることで一時的に表示させることは可能です。

設定は補助機能の「その他設定」から

- 「転帰病名も開示する」 : すべての病名を開示します。
- 「転帰病名は開示しない」 : 転帰した病名を非開示にします。
- 「当月の転帰病名は開示する」 : 当月の転帰病名は開示し、当月以外の転帰病名を非開示にします。



操作、設定方法についてはWOLF ver2.0.7.2 追加マニュアルを参照ください。

2-5. 主治医意見書、医師意見書の「1. 傷病に関する意見」タブ「(3)生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容」入力欄を拡大

主治医意見書を8行から14行、医師意見書を8行から10行までスクロールなしで表示できるように入力エリアを拡大しました。

2-6. 紹介状作成のXML選択時の左側入力エリアの「症状経過」欄を2行分拡大

「症状経過」欄を2行分拡大し、「備考」欄を1行分縮小しました。

2-7. 文書管理で各種文書の「参照作成」の動作仕様を変更

参照作成時に過去文書から内容が自動で引用されますが、医療機関情報、患者情報に関しては、過去文書に記載された情報ではなく、WOLFの管理ツールに登録されている現時点の情報を参照するように仕様を変更しました。

The screenshot displays the '管理ツール' (Management Tool) interface. The '主治医意見書' (Main Doctor's Opinion) form is the primary focus. A red box highlights the '医療機関情報' (Medical Institution Information) section, which includes fields for name, postal code, address, phone, fax, and business number. A red box also highlights the '症状経過' (Symptom Progress) field, which is expanded to two rows. A red arrow points from the text '内容をダブルクリックするとクリアされます。' (Clicking twice will clear the content) to the '症状経過' field. The form also includes a section for '患者情報' (Patient Information) and a table for '医療機関名' (Medical Institution Name) with various tabs for different types of opinions.

3. 不具合対応一覧(WBF - WOLF Bug Fixed : WOLF バグ管理番号)

有料版 WOLF ver2.0.7.1 で判明した不具合に関し、WOLF ver2.0.7.2 での対応について列記します。

WBF-00043 WOLF ランチャスレーブモードの修正

WOLF ランチャのスレーブモードで患者情報画面を開いた場合、CLAIM のその他設定で「患者情報表示中に CLAIM 受信時ポップアップする」の機能が働かない問題を修正しました。

WBF-00044 SRL 社 DDNetServer 検査取込機能の修正

SRL 社 DDNetServer のオンライン取込および DD Net FD 取込で患者氏名が 19 文字以上であった場合にエラーが発生していた問題を修正しました。

WBF-00045 主治医意見書 画面表示の修正

主治医意見書 医療機関名タブ 他科受診の有無に 生活機能とサービスに関する意見タブ 医学管理の必要性 の項目が表示される問題を修正しました。

WBF-00046 主治医意見書「5. その他特記すべき事項」入力モードの修正

主治医意見書「5. その他特記すべき事項」で 入力エリア選択時、キーボードの入力モードが半角英数になる問題を修正しました。

WBF-00047 紹介状 XML Tab キー動作の修正

紹介状作成で XML を選択し、画面右側参照エリアからマウスクリックの入力支援機能利用時、左側の入力エリアをキーボードの Tab キーで移動した際のフォーカス位置が反映されない問題を修正しました。

WBF-00048 主治医意見書 5. その他特記すべき事項」の定型文編集機能の修正

主治医意見書「5. その他特記すべき事項」の定型文「編集」で文章追加時に、エラーが発生する問題を修正しました。

4. WOLF ツールのご案内

WOLF に関連する無料および有料のツールについてご案内いたします。

4-1. AEXUS

AEXUS は様々な帳票を汎用的かつ簡単に作成するためのツールです。

WOLF がなくても単独で使用可能ですが、WOLF と同時に使用することで、患者氏名などの基本情報や薬歴、病名などを引用できますので、より効率的な帳票作成が可能となります。

有料ソフトですが、評価版プログラムの無料ダウンロードもあります。

詳細は下記 URL を参照ください。

<http://medical-domain.com/products/aexus.php>

4-2. お薬手帳印刷システム

2009-08-07 現在開発中のツールです。提供準備が整い次第、メディカルドメインの Web サイトで告知します。

あらかじめ日レセに登録された薬剤情報マスタを利用し、WOLF からお薬手帳サイズのカラー写真付き薬剤情報を印刷するツールです。

薬事日報社から発売されている「FINE PHOTO DI PLUS」の CD-ROM から薬剤写真と説明文を日レセにデータを投入するツールも提供を予定しています。

薬事日報社から発売されている「FINE PHOTO DI」には対応していません。必ず「FINE PHOTO DI PLUS」をご利用ください。

WOLF 上では薬剤写真、薬剤説明文(剤形、効果・効能、注意事項)の編集はできません。

本ツールの利用には日レセとの連携が必須です。

別途、専用のプリンターが必要になります。

4-3. WOLF ランチャ

WOLF から弊社製および他社製アプリケーションを呼び出したい場合、WOLF ランチャを利用することで複数のアプリケーションと WOLF を連携することができます。

対応アプリケーション(2009-07-29 時点)

- ・ WinORCA Expert(簡易オーダリングソフト) 熊本ソフトウェア株式会社殿
- ・ レセプトチェッカー(レセプト病名点検ソフト) SFK メディカル株式会社殿
- ・ KONICA Regius 連携(CR) コニカミノルタ殿
- ・ LumiView(DICOM ビューワー) 株式会社リアルビジョン殿
- ・ View Plus Pro(心電図データファイリングソフト) フクダエム・イー工業株式会社殿
- ・ AEXUS(帳票作成ツール)メディカルドメイン別売製品

WOLF ランチャは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>

4-4. XML コンバータ

WOLF のデータベースから XML データ作成および、作成した XML データを WOLF へ登録するツールです。

これまでの仕様では、WOLF インストール時のデータベース選択で Jet エンジンか MSDE を選択後にデータベース形式を変更することはできませんでした。

このツールを使用して、現在利用している WOLF から XML ファイル形式で全データを抽出し、さらにその XML データを異なる種類のデータベースでインストールした WOLF へ登録することで、データベース形式に関係なくデータ移行が可能となります。

XML コンバータは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>

4-5. 日医医見書データ移行支援ツール

日医 医見書ソフトから WOLF へのデータ移行支援ツールです。

平成 21 年度介護保険制度改正対応版の「日医 医見書 ver3.0.8」からのデータ移行に対応した「日医 医見書データ移行支援ツール ver1.2」を提供中です。

以下のデータが移行可能です。

- ・患者基本情報
- ・意見書請求先 保険者情報
- ・主治医意見書 文書内容
- ・医師意見書 文書内容
- ・訪問看護指示書 文書内容

移行可能なデータには条件がありますので、必ずマニュアルを参照して移行を実施してください。

平成 21 年 7 月 29 日現在 利用可能な医見書のバージョンは以下の通りです。

- ・ システム version : 3.0.8
- ・ データ version : 3.0.8
- ・ スキーマ version : 3.0.8

日医医見書データ移行支援ツールは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>